

スケートボード男子ストリート決勝で
演技する根附選手



BMXパーク男子で優勝し、
笑顔を見せる中村選手



BMXパークで演技する中村選手



スケートボード男子ストリートで
優勝した根附選手



Xゲームズ大阪

BMXの中村選手が初制覇 根附選手もストリート初V

アクションスポーツの国際大会「Xゲームズ大阪」は21、22日の両日、京セラドーム大阪で行われ、自転車BMXパーク男子では中村輪夢選手が初優勝。スケートボード男子ストリートは根附海龍選手が初の栄冠を手にした。

1995年に米国で始まった国際大会。スケートボード、自転車BMXなどを実施する夏季とスノーボードなど雪上競技を行う冬季の大会があり、トップアスリートが集結する賞金大会として人気。

中村選手は2022年世界選手権を制した一方、手が届いていなかったXゲームズのタイトルを初めて獲得。京都出身の23歳、五輪は2大会連続で5位に甘んじた。「28年ロサンゼルス五輪につなげたい」と夢の続きを語った。

かかとで板を蹴って回転させる「ヒールフリップ」を成功させ、演技を締めくくった21歳の根附選手。パリ五輪代表は惜しくも逃したが、「ロス五輪は年齢的にも良い感じ。出たい」と3年後を真っすぐ見据えた。



「スポーツニュース」の
ダウンロードはこちらから

JSPO

スポーツ★ニュース

SPORTS
NEWS
Vol.167

2025年6月30日発行

交流戦優勝を決め、ファンにあいさつする
小久保監督(右端)らソフトバンクの選手



プロ野球交流戦

適時打を放つソフト
バンクの柳町選手



ソフトバンク、6年ぶりV リーグ連覇へ「いい弾み」

20回を迎えたプロ野球の「日本生命セ・パ交流戦」が終了した。パ・リーグのソフトバンクが通算12勝5敗1分けとし、6年ぶり9度目の優勝を果たした。賞金は3000万円。パ・リーグ勢の優勝は15度目。また、6位までを同リーグ勢が占めるなど、リーグの力の差を見せた。

交流戦の最優秀選手賞は、全18試合に3番で出場し、12球団トップの打率3割9分7厘と出る、ソフトバンクの柳町選手が選ばれた。

交流戦は1リーグ10球団構想で揺れた2004年の「球界再編騒動」を経て、球界の活性化を目指して05年から実施された。各チームが他リーグ6球団と計18試合を行った。

パ・リーグで現在3位(6月23日現在)に付けているソフトバンク。小久保裕紀監督は「またパ・リーグの試合が再開するの、いい弾みになる」とリーグ連覇を見据えていた。

本紙面が日本スポーツ協会ホームページ内の「JSPOスポーツニュース」で見られます

日本スポーツ協会

検索



日本スポーツ協会ホームページTOPページ

PUBLISH[一覧はこちら]

JSPOスポーツニュース

で見たいニュースを見つけてね!

スポーツ★
WINNER

JSPOスポーツニュース 第167号
2025年6月30日発行
(次回は2025年9月16日発行予定です)
JSPOニュースは、スポーツ振興くじの助成を受けて制作・配送しています。

企画：JSPO(公益財団法人 日本スポーツ協会)
https://www.japan-sports.or.jp/
監修：時事通信社
〒104-0061 東京都中央区銀座5丁目15番8号 電話03(3524)6944

JSPO
Japan Sport Association